

コア解析の流れ

Step.1 非破壊測定

コア試料のサンプリングや詳細な分析を行う前に、コア全体の構造や物性特性を調べるための非破壊測定が行われる。堆積物内部の構造や物性特性は連続した画像や各種物性データとして得られ、その後の分析や試料採取に役立てられる。

Step.2 試料の採取

非破壊測定の後、コアカッターやワイヤーなどによって縦方向に半割され、各研究者の要望に応じた試料が採取される。

半割コアの一方は試料採取用（ワーキングハーフ）に、もう片方は保存用（アーカイブハーフ）として冷蔵保管される。



Step.3 分析・計測

分取された個別試料は、それぞれの研究に応じた分析や計測に用いられる。例えば、微化石の群集解析や岩石磁気学的な測定、詳細な物性測定、同位体比測定、バイオマーカー分析、微生物分析などが行われる。

Step.4 保存

分取試料やアーカイブハーフなどは、各研究者の要望に応じて適切な温度管理下で冷蔵および凍結保存する。特に、海底で採取された堆積物中の微生物などは、温度変化や酸素による分解を避けるために極低温で保存する必要がある。